

人へ 未来へ まっとうな政治へ

衆議院議員

# 坂本ゆうのすけ

特集号



立憲民主党  
立憲民主編集部  
〒100-0014  
東京都千代田区  
永田町 1-11-1  
三宅ビル 7F  
Tel.03-3595-9988  
Fax.03-3595-9088

SAKAMOTO  
YUNOSUKE  
立憲民主党埼玉県第10区総支部版

## 坂本ゆうのすけ代議士 2023年 国会活動報告

### 環境委員会 質疑

地球温暖化  
異常気象  
対策

二酸化炭素等温室効果ガスの  
排出削減目標の引き上げを求める！



#### 伊藤信太郎環境大臣に質す！

坂本代議士は、12月5日の環境委員会にて、地球温暖化対策を取り上げ、「温室効果ガス削減目標の強化・新設」について、伊藤環境大臣に質しました。

坂本代議士は、「11月に公表された国連環境計画の排出ギャップ報告書によれば、パリ協定をもとに各国が示した温室効果ガス排出削減目標を達成したとしても、今世紀末には $2.5^{\circ}\text{C} \sim 2.9^{\circ}\text{C}$ の気温上昇が予想されている。我が国として、現状の2030年までの削減目標を強化したり、2035年までの新たな削減目標を設定したりする予定はあるのか」と質しました。

伊藤大臣からは、「我が国は温室効果ガス削減の実績を着実に重ねている。目標の強化・新設については、関係団体や有識者の意見も踏まえて透明性のある形で策定を進めていきたい」との答弁がありました。

大臣の答弁に対し、坂本代議士は「一部の産業界、企業の意見に留まらず、国民から広く意見を募り、腰を据えた議論をすべき」と訴えました。



答弁する伊藤信太郎環境大臣

### 2024年度 税制改正に向けて

子ども  
対策

扶養控除等における  
「早生まれ」の不利の是正を！

坂本代議士の提案が、党の「2024年度税制改正についての提言」に採用

立憲民主党は、2024年度の税制改正について提言を取りまとめ、12月12日に鈴木俊一財務大臣に申し入れを行いました。

提言の取りまとめにあたり、坂本代議士は「現在、扶養控除等は12月31日時点の年齢に基づいて適用されるため、高校生の扶養控除について、『早生まれ』の子どもは、中学校を卒業した年は扶養控除の対象にならないという不利が生じている。扶養控除の対象になるよう是正するべき」と提案し、提言に取り入れられました。

さらに、坂本代議士は「このような不利・不公平がこれまで続いていることは問題。扶養控除等について、『就学年』での適用を認めればよいだけのことなので2024年度税制改正の中では正されるよう、国会審議の中でも求めていく」との考えを示しています。

#### 「2024(令和6)年度税制改正についての提言」概要

- 物価高騰で厳しい状況にある家計・事業者等への支援
  - ①所得税・住民税減税ではなく「給付」を迅速に実施
  - ②「トドラー条項」の発動(ガソリン1㍑あたり約25円の減税)
  - ③インボイス制度廃止・免税事業者から転換した事業者への支援等々
- 物価を上回る賃金上昇の実現に向けた支援
  - ①一部企業の過大な内部留保が負担に回るよう、税制等を強化
  - ②賃上げ抑制策は有効手段と言えず、より実効的な手段ごとめる
  - ③リカレント教育を受ける個人・企業への優遇措置等々
- 税制の所得再分配機能・財源調達機能の強化
  - ①所得税・金融所得税課税の累進性強化
  - ②給付付き税額控除(消費税還付制度)の導入
  - ③収益に応じて負担を求める法人税改革等々
- 暮らしの安心を支え、幅広い消費を喚起するための税制
  - ①児童手当が十分な額とならない限り、現行の扶養控除を存続
  - ②扶養控除等における「早生まれ」の不利を是正
  - ③奨学金返還額を所得控除の対象化等々
- 働き方やライフスタイルに中立な税制
- カーボンニュートラルの実現に向けた税制
- 多角化・深刻化する災害等に対応する税制
- 真の地方分権改革実現に向けた地方税財源の安定的な確保等
- 多国籍企業による租税回避の防止
- 納税環境の整備

立憲民主党 税制調査会

### ご挨拶 ー2024年 通常国会に向けてー

政治資金パーティーをせずとも、企業・団体献金を受けずとも、政治活動はできる！

日頃より、立憲民主党並びに私の政治活動にご支援を賜り、心から御礼申し上げます。また、1月9日に東松山駅前で実施しました能登半島地震の募金活動では、多くの皆様にご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年の国会におきましては、多くの法案や政策が審議される中、私は特に「現行の健康保険証の廃止に伴うマイナンバーカードと健康保険証の一体化の問題」や「子ども・子育て政策」について重点的に取り組んでまいりました。

現行の健康保険証廃止の問題や子ども・子育て政策につきましては重要な課題であり、これからも政府・与党の取り組みをチェックしていくなければなりません。現行の健康保険証の存続と子どもを産み育てやすい環境づくりのため、引き続き、しっかり取り組んでまいります。

ところで、昨年末、政治資金パーティーに関する収入不記載の問題が露呈しました。私は、衆議院議員初当選以降、「クリーンでしがらみのない政治」をモットーに政治資金パーティーは行わず、企業・団体献金も受けず、有権者の皆様の良識に支えられながら活動をしてまいりました。はっきり申し上げて、政治資金パーティーを行わなくとも企業・団体献金を受けなくても政治活動はできます。政治不信を払しょくし、カネのかからない政治を実現するためにも、政治資金パーティーも企業・団体献金も禁止するべきと考えます。

本年も山積する国家的課題に取り組むとともに、皆様のお声をいただきながら地域の課題にも取り組んでまいります。引き続き、ご支援賜りますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

立憲民主党埼玉県第10区総支部長 衆議院議員

坂本祐之輔



本会議にて代表質問(4月14日)

# 2023年 国会活動報告

## 議員立法

## 「保険証廃止延期法案」等 9本の議員立法を提出

坂本代議士は、昨年1年間を通じて9本の議員立法の立案にかかり、衆議院に提出しました。提出した議員立法は以下のとおりです。

### 提出議員立法一覧

- 悪質ホストクラブ被害対策推進法案（11月30日提出）
- 児童扶養手当増額法案（10月23日提出）
- 保険証廃止延期法案（10月20日提出）
- 車内置き去り防止法案（6月15日提出）
- 地位利用第三者児童虐待防止法案（5月26日提出）
- 学校給食無償化法案（3月29日提出）
- 保育士配置充実法案（3月17日提出）
- 「低所得子育て世帯給付金」再支給法案（3月10日提出）
- 児童手当所得制限撤廃法案（2月20日提出）

※ 法案名は通称で記載しております。

提出した議員立法の成立に向けて、引き続き尽力するとともに、本年も国民生活をよりよくするための法案づくりを行ってまいります。



## 坂本ゆうのすけ代議士の政治姿勢

- 一貫した政策 と クリーンな政治
- 命と暮らし最優先
  - 格差解消
  - 教育無償
  - 原発ゼロ

坂本代議士は、初当選以降、政治資金パーティーは行わず、企業・団体献金も受けていません。

クリーンで  
しがらみの  
ない政治



ホームページをリニューアルしました。  
ぜひ、ご覧ください。

さかもとゆうのすけ

検索



## 立憲民主党

## 「政治資金世襲制限法案」を衆議院に提出

### 政治資金の引き継ぎ 贈与税・相続税も課税されず問題

立憲民主党は10月20日、議員立法「政治資金規正法の一部を改正する法律案（政治資金世襲制限法案）」を衆議院に提出しました。

この法案の内容は、「公平性を期すために国会議員に係る政治資金の親族への引継ぎ・寄付を禁止する。」というものです。

坂本代議士は、この政治資金世襲制限法案の提出を受け「現状、世襲により政治資金を引き継ぐ場合は相続税や贈与税がかからないという問題もある。国会議員になるチャンスは志あるすべての国民に公平に与えられるべきであり、これから日本を考えたとき、志ある若者がどんどん国会議員に挑戦できる環境をつくっておかなければならぬ。そのためにも必要な法案であり、必ず成立させなければならない。」との考えを示しました。

## 地元活動

### 国政報告会 岡田克也幹事長が応援に！

坂本代議士は、11月12日、国政報告会を開催しました。岡田克也幹事長が応援に駆け付け、我が党の取り組みや国政の課題等について講演しました。ご参加いただいた皆様には大変熱心にお聴きいただき、有意義な国政報告会になりました。



### 令和6年能登半島地震募金のご報告



1月9日、立憲民主党埼玉県第10区総支部では、能登半島地震被災者支援の募金活動を東松山駅にて行いました。多くの皆様にご協力をいただき、**58,410円** の義援金が集まりました。立憲民主党本部を通じて被災地にお届け致します。多くの皆様のご協力誠にありがとうございました。

## SAKAMOTO YUNOSUKE 坂本ゆうのすけ プロフィール

### 現在

- 衆議院
  - ・文部科学委員会 理事
  - ・地域活性化・こども政策・デジタル社会形成に関する特別委員会委員
- 立憲民主党
  - ・災害・緊急事態局 副局長
- 日本スキー指導者協会 会長
- 東松山市スポーツ協会 会長
- 武蔵丘短期大学 客員教授

### 主な経歴

- ・東松山市長（4期）
- ・東松山市議会議員（2期）
- ・民進党副代表
- ・衆議院 科学技術・イノベーション推進特別委員会 委員長
- ・日本スポーツ少年団 本部長
- ・全日本スキー連盟 副会長
- ・埼玉県体育協会 会長
- ・日本大学 文理学部 卒業
- ・埼玉県立松山高等学校 卒業

趣味・特技  
スキー、音楽、釣り、将棋

党員・協力党員  
(サポートーズ)  
募集中!  
お申込み、  
お問合せは  
下記の  
連絡先まで